

16/11/30 名古屋市議会経済水道委員会 メモ（名古屋市民オンブズマン作成）

12/5 も議論

観光文化交流局長：9月定例会について総務課長より説明

総務課長：資料について説明

2022年に変更

工程を竹中と協議 資料として提出

- ・2022年 法令に抵触するものでない 熊本地震、議会議裁量権の範囲内
- ・工程案 石垣調査の後解体
- ・竹中から指摘 建設費が上昇する可能性がある

丹羽ひろし(自民・名東区)：これで3回目の審議

継続3回目 そぐうものなのか

主幹：木造復元に関する議案 中身は木造復元に必要なもの。変更はない。

当初は2020年7月。前回2022年7月と見直した。

工程 竹中さんと協議した

丹羽ひろし(自民・名東区)：2020年が消えたわけではない。

補正予算10億 繰り越し繰り越し 3つの議会をまたいで

取り下げて提出すべきではないか

継続審議 補正予算を審議 過去あるか資料で出して

主幹：一度確認して、資料で出したい

塚本つよし(民進・瑞穂区)：竹中資料 建設費上昇 木材

竹中案は何パターンかあったはず

今回の建設費の上昇 外産材の使用はあったのか

主幹：パターンは石垣の積み直しをするのか、ケーソンを利用できる場合、できない場合4パターン

外材は別途協議

田辺雄一(公明・千種区)：「本市の考え方」下敷きがあるのか

主幹：9月定例会まで弁護士らに意見を聞いて、市として整理した

9月定例会でさらなる法的整理 新たな工程について評価委員の先生に確認

問題ないのではないかと話

公正取引委員会に意見を聞いた。

基本的には法令に反するものではない。基本的には名古屋市がすること。

完成期限の見直しは熊本地震、議会の審議を踏まえたもので根拠がある

田辺雄一(公明・千種区)：合理的理由があるという理解か

主幹：ご指摘の通り

田辺雄一(公明・千種区)：市の裁量権 従来通りか再考するか

2022年工期延長 工程案

・費用 2020年7月 505億円 竹中の責に負わない工期ずれ込み やむを得ない

2022年工期設定で差違があるのかどうか

主幹：基本的には差違はない

田辺雄一(公明・千種区)：僕もそう思う。委員会に竹中に来てもらった。

「505億は超えません」と力強く言っていたはず

2022年にしたことで、505億は超えると言っている。どの程度超えると言っているのか

主幹：いくら超えるという話は言ってこない

田辺雄一(公明・千種区)：超えてくることは確実。

業界の人に聞くと、木材が高くなっているらしい。

505億でできるものが、600億円ほどになるらしい。

ちょっと納得いかない

主幹：竹中は6月定例会前後で505億円を超えないと言った。竹中条件で。

熊本地震を受けて、石垣調査の安定性の調査 追加したことで完成期限を見直した

当初竹中が想定していなかった工程の見直し

505億円で収めたいと言っているが、どうしてもオリンピックの影響を受ける

若干心配がある

設計を進める中で価格交渉をする

田辺雄一(公明・千種区)：2020年7月ではじめても505億を超えたってこと。

あなた方は契約が下手。どんどん膨らんでいく。こういう契約。

市民にどう説明するのか。

あれだけ市民に周知した。2022年にすると言ったら、竹中は505億円を超えるといった。

市民にどう修正するのか

主幹：今回の竹中 総事業費上昇 仮設・解体工事 505億の内50-60億を占める

市民にどう説明するか 議会の皆さまにおはかりしながら市民に周知する

田辺雄一(公明・千種区)：仮設工事費について上昇

本体工事は変わらない 505億円の中で頑張りますということなのか

いくらくらいなのか どこまで心配したらよいのか

所長：竹中から聞いたのは、仮設・解体工事時期が東京オリンピックと重なると上がる

木材については言われていない

価格は市況による 設計を進める中で交渉

田辺雄一(公明・千種区)：本当に交渉が下手

文化庁検討委員会 3回載せてきた

竹中1発で通りますは幻。1回でやればいいじゃないか。

信頼関係や、合理性・正当性が問われる。

この資料はここがおかしい。

2020年までなら505億円でできるといったのに、2022年が許容したために、やぶへび。

主幹：文化庁の許可 1回から3回

当初は石垣の安全性の確保のための調査をいれていなかった

当初 505 億円 ずれ込んだ場合

6 月定例会、9 月定例会 2020 年まででも竹中から守れると言われた。

工程を見直したら、上昇すると言われた

田辺雄一(公明・千種区)：2022 年となった場合、影響が出ている。

普通の人には、本体工事には影響しないかな、と思う。まとめて聞いておくべき。

ほかに影響でないという保証がどこにある？

誠実に審議するのなら聞いておいで。

所長：資料で示したとおり、解体工事 全体の工事も聞いたが、

木材について高騰を懸念は認識していない。次の委員会までに聞く。

田辺雄一(公明・千種区)：契約の下手さはいろんな所で見える。

契約をする段階 契約書の内容

年間 100 億円の経済効果があると市長が言った。

1 ヶ月遅れれば 10 億円の損害。

この工期までにやれなかった場合のペナルティはどうするのか

主幹：事業者側に責めがあった場合 その段階で中止するか判断する

工事が始まっている場合、工事契約約款で損害賠償

工期が延びた場合、部分引き渡しを除いたもので損害賠償

経済波及効果など遺失利益は今後検討

田辺雄一(公明・千種区)：工期の遅れということは計り知れなくなる

事業者には何とでも守ってもらわないといけない

事業者も何が何でもやってもらわないといけない

超えたら責任を負ってもらわないといけない

局長：当然のことだと思う。本市としても努力しないといけない

田辺雄一(公明・千種区)：資料で出してほしい 今どう考えているのか

木下優(公明・中川区)：「505 億を超える」は市民感覚からして疑問

2020 年 7 月 最高でも 505 億

仮に 2022 年 7 月ならいくらなんだ 示してもらわないと検討がつかない

510 億、550 億、600 億 分かるのではないか

委員会で示してもらわないと委員会で議論ができない

主幹：オリンピックの影響の懸念がある

どれだけ上がるのか、市況によるのでなかなか試算できない

なるべく 505 億で収めるよう努力したい

木下優(公明・中川区)：「建設費が上昇することも考えられる」

いくら上昇するのか、示されなければならない

河村市長 9 月「事業費の減額についても検討」

減額が頭にある。上昇するという資料がよく出るな

取り壊し、仮設 どの程度かかると見込んでいるのか

主幹：仮設・解体工事 約 50-60 億

2022 年 7 月 金額的にはどうかというのは、今後市況不確定

どう上がるのか竹中も見込みは難しい

木下優(公明・中川区)：竹中はプロ 幅はいくらか

だいたい見込んでいるのか 優先交渉権者の竹中としては出してもらわないと議論が進まない

主幹：名古屋市 インフレ条項 目安となる

名古屋市としては物価スライドを勘案して判断する

木下優(公明・中川区)：市民の皆さまに説明する

市がこんないい加減なことではだめ 市民が見ている。

資料として 505 億円からどの程度アップするのか、心配。

説明責任が足りない

所長：どの程度高まるか、出すのが難しいと考えている。

竹中の方に詳しく聞けるか聞いてみて、示せるものがあれば示す。

金額については市としては 505 億円で努力する

物価が上がれば客観的な事情を踏まえて市民に示す

木下優(公明・中川区)：市民に示すのであれば、どの程度幅があるのか示さないと分からない

丹羽ひろし(自民・名東区)：2022 年ありきで話をされているが、1 ヶ月 1 億円の減収。

2020 年は消えたのか

主幹：2020 は消えた。2022 年で審議してもらいたい

丹羽ひろし(自民・名東区)：本契約につながる大事な審議

竹中は 9 月まで「2020 年に間に合う」と言っていた。

文化庁の協議が増えている。

竹中に助け船を出しているとはしか見えない

主幹：契約が遅れる、石垣の調査を追加

その部分を除くと工程 40 数ヶ月は同一。

竹中に有利に働くとは考えていない。

丹羽ひろし(自民・名東区)：石垣については後で触れたい

「建築費が上昇することも考えられる」 自分の家の契約なら絶対しない

350 億円という資料ももらった。

物価がすでに上がっている

高騰している資材があるから、505 億円はできない。

安藤ハザマ、見積もり参加しなかった業者から見積もり取ると、変わってくるかもしれない

まだ契約していない。

ある業者が 350 億円でできる、という資料がある。

今なら 400 億円でできるかもしれないのに、調査しない市は怠慢。

局長：調査期間を設定して、延ばした。

市民にはその旨説明していきたい。市況の影響を受ける、という客観的な事情を述べている。

一般的にはスライド状況を適用している。

名古屋市としても説明していきたい。

丹羽ひろし(自民・名東区)：「減額ができる可能性」→増加 市長の答弁はいい加減

清水建設の資料がここにある。「石垣が大事」といっている。

議案は陳腐化している。皆さんの提案はダメ。

見直す勇気がないとだめ。未来永劫認めていかないといけない。

暫時休憩 12 : 11

再開 13 : 15

13 : 18

江上博之(共産・中川区)：資料を見て怒った。「法令に抵触」根拠がない。

メリット 東京オリンピックに間に合うこと。

何の反省もなくするのはおかしい。

以前議事録「工期は必須項目。」どういう理解か

主幹：プロポーザルの段階だと理解

江上博之(共産・中川区)：今は違うのか

主幹：今判断している

江上博之(共産・中川区)：委員会審議とは

主幹：委員会から石垣の安全性の指摘がでた

江上博之(共産・中川区)：合理的理由 書いてあるのか

主幹：書いていない

江上博之(共産・中川区)：私の理解では、契約後変更する。

主幹：書いていなかったが、応募者の質問等で事業者の責めに帰さない、とある

江上博之(共産・中川区)：評価委員はいつ何名が参加したか

主幹：11/24 開催。7名のうち3名が参加。個別に報告し意見を聞いた

江上博之(共産・中川区)：残り4名もそうだとということか

主幹：おっしゃるとおり

江上博之(共産・中川区)：意見の食い違い

技術提案交渉方式 メリットは2020年までできる

デメリット 昨年9月の資料 提案物の品質と価格のバランス

高価格の提案になるおそれ

270億-400億→505億 今日また高騰する

変更したのは期限だけ。金額も見直ししないといけないのでは？

主幹：事業費は設計を進める中で判断

議会にお諮りする

江上博之(共産・中川区)：2022年 技術提案交渉方式なら今回のような業者になっていたか

所長：今回の募集は2020年完成。

その後予測つかなかった熊本地震、熊本城損傷。

石垣の安全性を保つため、市長が判断して2年遅らせた。仮定は持っていない

江上博之(共産・中川区)：もともと名古屋城の石垣はダメ。ケーソンでやる。

熊本を理由にするのはおかしい。

基本設計費 4億か？

主幹：4億8000万強

江上博之(共産・中川区)：だれが出したか

主幹：竹中

江上博之(共産・中川区)：専決処分 何を対象にするのか

議案がないのではないか

主幹：見直した上で約10億円の補正予算。

江上博之(共産・中川区)：勝手に見直した いったん取り下げてあらためて提案するべき。

勝手に判断したのだから見直しには当たらない

設計業務 基本協定書 全建設費

基本協定書 項目は？期限は？

主幹：完成期限、全体事業費

江上博之(共産・中川区)：完成期限 2022年か

主幹：木造復元は2022年7月と掲げることになる

江上博之(共産・中川区)：2022年7月 どこを根拠にもってくるのか

文書上は書いていない。

協定書に数字が書けるのか

主幹：9月定例会で市長が提案した

竹中と協議

丹羽ひろし(自民・名東区)：熊本地震 石垣を理由にしているが

所長：石垣に荷重がかかったから損傷があったという見方もある

丹羽ひろし(自民・名東区)：石垣の件は議論されてきた。文化庁にも先週行ってきた

熊本城にも行ってきた。RCでできた建物だから石垣が崩れたが天守閣は崩れなかった。

恥ずかしいとは思わないのか

主幹：当初から分かっていたのではないかと指摘。

荷重をかけた方がよいのか、かけない方がよいのか議論があるという認識。

今後調査していく

丹羽ひろし(自民・名東区)：文化庁に行って、いろいろ聞いてきた

回答はなかった。

文化庁とどう交渉したか

主幹：6月・9月定例会 継続について報告

名古屋城 石垣調査 現状どうなっているか報告

建物現状変更許可が必要

熊本を注視していく必要

丹羽ひろし(自民・名東区)：主任文化財調査官 どういう内容で受け付けたのか

6月定例会 継続になったことしか受け付けていません。

9月定例会 継続になったことしか受け付けていません。

それ以外はないと明言

竹中 参考資料 「何にも受け付けていない状況」

どこの持ち物なのか？名古屋城 今回の計画

主幹：文化庁 資料は受け付けていない

許可を取っていく資料 地元での学識経験者 資料を揉み込んで文化庁に提出

基本設計に入っていない 到達していない

丹羽ひろし(自民・名東区)：地主や大家は誰か

主幹：名古屋市が持ち物

丹羽ひろし(自民・名東区)：文化庁の許可がないと木一本切れないでよいか

主幹：木一本は程度問題。

土は文化庁の許可が必要

丹羽ひろし(自民・名東区)：「石垣の木を切る」言葉が足りなかった。

何も進んでいない段階で、10億が505億以上

あまりにも急ぎすぎている

熊本地震 回答はもらえなかったが、日経新聞熊本城考察 石垣が破壊

1回目で流動化し、2回目で破壊

鉄筋を打つなり蛇籠 検討している

すべて竹中案はチャラにしないといけない

盛り込めない工程を出しても進めない

いつか2022年にすり替わっている

補正予算の審議 私個人は2022年になったと思っていない

2020年で竹中に違約金払ってもらった方がよい。

石垣 文化庁 何をやるのか

熊本城飯田丸 木造建築が崩れて石垣が壊れないように支えている

名古屋城でも石垣が注目される

工程がもっと延びる

主幹：文化庁の許可 精力的に学識経験者と検討

丹羽ひろし(自民・名東区)：本丸御殿 文化庁との協議 受け付けてからの話

本丸御殿に関わったある職員 裏打ち合わせでずいぶんやっていた

協議だけで3年はかかるといっている

竹中案で行けると思っているのか

所長：審議会を通過していかないと先に進んでいかない

そのままずっと認められるものではない

石垣の詳細調査 しっかりすることが重要

調査をしっかりしながら許可をもらう

丹羽ひろし(自民・名東区)：木造天守閣は震度7まで耐えられるのか

主幹：木造天守閣 建築基準法同等としている

丹羽ひろし(自民・名東区)：震度いくつか

主幹：震度6強程度7に至るまでという感じ

丹羽ひろし(自民・名東区)：なぜ聞いたか 飯田丸 新しく建つ建物は文化的価値全くない

石垣が壊れるのがだめ

後戻りできない

自分の家を建てる時、こんな風にするのか

万博のとき、冷凍マンモスが来た「見たね見たね」4・5万人  
パビリオン 中に何人入ったか、

主幹：どこまでさかのぼれるか分からないが出す

丹羽ひろし(自民・名東区)：竹中図面 I S値0.14 展望台 階段がある  
階段の幅 2メートルくらい 上り下り1メートル

収支予想 第三者出てきていないが、避難、何万人見込み  
1日何人上れる 何人処理できるか

主幹：姫路城で言うと約1.5万人 最大1.8万人

名古屋城2倍 3万人

丹羽ひろし(自民・名東区)：それは知っている 容積率

階段の幅 ボトルネックで絞られる 単純に倍にする

主幹：避難誘導は設計段階で

丹羽ひろし(自民・名東区)：今の天守閣 入場制限 倒壊の危険性  
本来は入場禁止にすべき

今回はそういうことも考えずに提案しているのか

主幹：入場者見込みは他城郭を勘案

丹羽ひろし(自民・名東区)：市民の生命財産を守るのが第一

避難も考えずに提案しているのか 審議しろというのか

主幹：竹中さまさまざまな提案 そのあたりを精査

丹羽ひろし(自民・名東区)：竹中の避難計画 になんて書いてある？

壁をぶち破ってはしご車を付けろと書いてある

障害者をしょって逃げろと河村市長は言っている

そんなことも考えずに提案されているのか

主幹：現状の入場者数見込み 姫路城 時間当たり800人

そこから勘案すると人数がどう確保できるか検討

丹羽ひろし(自民・名東区)：資料要求 障害者何人か見えたときの避難計画  
しっかり協議して提出して

藤沢ただまさ(自民・南区)：「建設費が上昇することも考えられる」

頑張っても上昇することも考えられる

具体的な上がり幅は聞いていないのか？

市から聞かなかったのか？

所長：何パーセント上がるのかは聞いていない

藤沢ただまさ(自民・南区)：なんで聞かなかったのか

所長：一般的にその市況に左右されると聞いている

懸念があるとのこと。現時点で何パーセントととらえられない

藤沢ただまさ(自民・南区)：市長も承知している



アジア大会 大村知事「そんなことは分らん」 河村市長「そんなら離脱」  
似通っていると思う。

アジア大会は離脱、今回は分かった

主幹：市長「505億頑張っていきたい、建設一般的上昇はあり得る。

私としては505億を目指す」

藤沢ただまさ(自民・南区)：幅も不可解。

資料でアジア大会との違いを出して。

2022年資料 建設費が仮に上昇した場合、収支見込み 違ってくる

2020年オリンピック 人が見込める

2020.21「来ます」下がらないとおかしい

新返済計画を出してもらわないと議論できない

主幹：収支報告 505億→仮に520億になった場合変わる

入場者見込み オリンピックなど外的要因は見込んでいない

仮に2022年になっても、入場者数見込みは変わらない

藤沢ただまさ(自民・南区)：2020年「オリンピックだから人が来る」計画に反映されてい  
なかつたのか

主幹：当然オリンピックで名古屋に来る人は増える

外的要因 付加要素

藤沢ただまさ(自民・南区)：2022年 大前提が崩れる

もともとは東京オリンピックまでに完成が意義がある→大義がなくなった、崩した

工程表 木造 フルスペックの工程表からはざくっとしたもの

フルスペックの工程表はでるのか

主幹：詳細な工程表はない

藤沢ただまさ(自民・南区)：前回フルスペックの工程表がでた。

本来出すべき。従前出されたものと同じものを出して。

はたしてできるのか、全体の工程表を見て判断したい

主幹：工事の工程は同じような形を出している。

大きなラインとしてはご提示されたものと同様の形で進んでいく

藤沢ただまさ(自民・南区)：後は同じでよいので、フルスペックの工程表を出してほしい

主幹：一度竹中と検討

藤沢ただまさ(自民・南区)：黙ってはんこを押せという話。

はんこを押しているものか心配。出すべき。

出せるまで待たないといけないのでは。

主幹：竹中と協議して判断

藤沢ただまさ(自民・南区)：3月末に資料提示。

2年延びただけではない。

ほかのことは大丈夫なのか？何が変わるのか？

竹中は再検討したのではないか

主幹：出せる範囲で検討

中川貴元(自民・東区)：建設費の上昇 明確な答えは出ていない。

「市況に左右される」

直近 物価スライドは何パーセントなのか

主幹：労務単価 愛知県6%

中川貴元(自民・東区)：直近6% 500億円に6%かけて30億円上がるのか

主幹：全体の工事の中で、仮設・解体工事についてスライド

50-60億 材料費も入っているが、だいたい2億くらいの数字

中川貴元(自民・東区)：現在の市況

仮設・解体工事に6%をかけるということか

主幹：竹中の説明 労務単価

中川貴元(自民・東区)：60億に6%をかけた分ということか 3.6億円という理解か

主幹：労務単価なので、目安としてそういうこと 現在だとそうなる

中川貴元(自民・東区)：整理するよ

「建設費の上昇」 今は具体的数字が分からない。

主幹：ご指摘の通り

中川貴元(自民・東区)：契約時は分からないが、今の物価上昇率は言える

主幹：その通り

中川貴元(自民・東区)：6%として、仮設・解体工事60億に6%をかければよいのか

局長：通常物価上昇率 6%にオリンピック需要による市況がかかってくる可能性がある

契約部に聞いても分からないという

中川貴元(自民・東区)：今の上昇だとそう。

2020であっても、2022であっても、2026であってもかかるのではないか

所長：ご指摘の通り 可能性がある

オリンピックということなので、懸念が大きい

中川貴元(自民・東区)：2020でもスライド分は6%ではなくても2%かもしれないが、かけないといけないか

所長：2020は近いので大規模な変動はないだろうと竹中が言っている

中川貴元(自民・東区)：どの契約でも一緒か？

主幹：工事約款によるので同じ

中川貴元(自民・東区)：工程表 6月継続動議 耐震、収支見込み

工程表に議会の何が活かされているのか

主幹：石垣の詳細調査が含まれている。

取り壊しが終わった後、石垣調査 工期延長

中川貴元(自民・東区)：石垣調査 約4ヶ月

詳細調査 約9ヶ月+8ヶ月分

17ヶ月分 2020→2022 要因になるのか

主幹：9ヶ月は純粹に増えている

石垣調査はやることになっていた。天守閣取り壊し終わった後空白2ヶ月 詳細調査

9ヶ月 2ヶ月分が空いている

中川貴元(自民・東区)：石垣9ヶ月 どういう調査をすることになるのか

局長：石垣 文化庁の許可 詳しいことは言えない

最初の4ヶ月 外観、勾配 劣化調査

詳細調査 安全性の確認、安定性の向上

しっかりとやっていきたい 文化庁 安全性 保存 厳しいものがある

石垣を抜いて内部も調査したい 安全性の確認

熊本城の調査状況も勘案

2ヶ月空白 天守壊した後、詳細調査したい

中川貴元(自民・東区)：継続動議 収支見込み、入場者数見込み 甘いのではないか

第三者機関にゆだねて適正な数字を出すべきでは→出しますと答弁

いくらかかるのか

主幹：2-3000万円ほどかかる

中川貴元(自民・東区)：結構かかるね

○をもらってから第三者機関に出すのか

主幹：基本設計を出す中で第三者機関に出す予定

中川貴元(自民・東区)：先に出すべきではないか

自分たちであらためてだしてみてもどうか

局長：方向性が決まった段階で、と思っていた。

予算が認められてから、と思っていた。

継続審査の状況を踏まえて考えたい

江上博之(共産・中川区)：「法令に抵触ものではない」断言

6月資料要求 前提の遅れが確実になった場合、法令に抵触。

受注者の責めに帰すことがない場合、専門家に相談

9月 4年強の工期は固定して弁護士に相談

議会から提案するならまだしも、市側からいうものではない。

後の2人 声としてどうなのか

主幹：「名古屋市から提案すると」

恣意的に変えたわけではなく、委員会審議を踏まえて判断

弁護士に確認したら、問題ないとした

江上博之(共産・中川区)：11月も資料で整理してもらいたい

主幹：出す

主幹：入場者数見込みの資料 見込み 避難経路

竹中と調整した上で出せる範囲で検討

大村光子(減税・昭和区)：資料 12/2 まで